

令和3年10月5日

政策経営部企画課

江東区行財政改革計画 令和2年度実績概要版

1 江東区行財政改革計画について

- 行財政改革計画の目的…①透明・公正な行財政運営の実現②効率的な行財政運営と組織体制の確立・人材の育成③安定的な財政基盤の確立
- 計画期間……………令和2年度～令和6年度
- 計画の特長……………江東区長期計画を実現するため、区政運営管理手法に関する取り組みを全庁計画として集約
- 進行管理……………長期計画推進委員会で進行管理
進捗状況は区議会に報告、ホームページ等で公表
- 実績報告……………毎年度、計画の進捗状況を実績版として報告
- 計画改定……………計画期間中であっても、区が即応すべき区政運営管理の課題については計画として取り上げる（年度毎に見直し実施）

2 江東区行財政改革計画の主な取組方針及び実績

No	項目名	取組方針	令和2年度実績
1・10	行政評価制度の活用	外部評価を活用し、行政評価制度の透明性・客観性を高めるとともに、評価結果の次年度予算への反映を図る。	令和3年度予算へ評価結果を反映（32事業） ※外部評価は、長期計画初年度のため実施していない。
2・61・62	新公会計制度の活用	統一的な基準による財務書類を活用し、適正かつ透明性のある財政運営の確保を図る。	統一的な基準による令和元年度決算財務書類を作成し、区ホームページ等で公表
3・12	包括外部監査の活用	包括外部監査での指摘事項や意見を踏まえ、事業の見直し・改善を図る。	・「情報システムに関する事務の執行」について包括外部監査を実施 ・令和元年度監査措置状況の公表 ・平成30年度監査結果を踏まえた事業の見直し等の進捗状況を追跡調査
4	契約事務の見直し	契約制度の調査・研究に継続的に取り組み、契約事務の改善につなげる。	低入札価格調査制度の本格実施（令和2年9月から）
6	オープンデータの利活用	区が保有する多種多様なデータを営利・非営利を問わず誰もが利用できるよう二次利用可能な形式で積極的に公開する。	オープンデータセット数（令和2年度末現在 7）

No	項目名	取組方針	令和2年度実績
8	協働事業提案制度の推進	協働事業提案制度の実施を通じて、区民の区政への参画・協働を推進する。	・令和元年度採択事業「パブリックアートを活用した観光振興」、「脱弧育で推進事業」の実施 ・令和元年度実施事業の評価を実施
9	協働社会をつくるための人材づくり	区民や市民団体等を対象とした、協働の啓発や団体活性化のためのセミナーを充実させ、協働の担い手となる人材の育成、団体活動の活性化に向けた環境整備を図る。	区民協働啓発セミナー「よりよい暮らしをつくるためにあなたにできること—行政とともに支えるまちづくり」をオンライン形式で開催
13	区立幼稚園のあり方の検討	幼児教育無償化に伴う保護者ニーズの変化や入園者数の動向によりさらなる適正配置やサービス向上策を検討する。	・区立幼稚園2園で3歳児保育及び預かり保育を実施 ・園児数の推移等を踏まえ、区立幼稚園あり方検討委員会で検討
14	江東きっずクラブの推進	きっずクラブ(学校内)については民営化を検討・実施し、きっずクラブ(学校外)については、休廃室を検討する等、適正配置を検討・実施する。	・江東きっずクラブ五砂を民営化 ・江東きっずクラブ大島八丁目を休室
16～19	保育所調理・保育所用務・学校警備・学校用務の見直し	業務委託を推進する。	・業務委託を推進 ・保育所用務は、再任用職員と会計年度任用職員を活用
20	効率的な清掃事業の推進	技能系職員の退職不補充を原則としつつ、民間活力の活用を検討し、定員削減及び収集経費の節減を図る。	収集職員の定数削減(2名減)
21	区立保育所の民営化	指定管理者制度導入を推進し、区民サービスの向上及び運営経費の縮減を図る。	辰巳第二保育園民営化移行準備(初年度)
22	児童館の管理運営の見直し	児童館に関する運営方針の改定を行う。 指定管理者制度を導入し、適正配置についても検討する。	・児童館に関する運営方針改定 ・小名木川児童館の指定管理者選定 ・適正配置の考え方を整理
25	福祉会館のあり方検討	福祉会館7館を順次指定管理者制度により民営化する。	・大島福祉会館で指定管理者制度導入

No	項目名	取組方針	令和2年度実績
27～ 29	文化コミュニティ財団、健康スポーツ公社、社会福祉協議会の経営改善	事業計画、運営経費の見直し、定員適正化等により経営改善を図る。	・事業計画、経営改善計画等を策定 ・定員適正化を実施
37	共通内部事務のあり方検討	基本事務マニュアルの改訂、職員提案制度の推進を含め、全庁的な共通内部事務の効率化を検討する。	・基本事務マニュアルの改訂版を作成 ・職員提案制度による事務改善提案の募集
38	事務効率の推進	給与関連事務の作業省力化や外部委託を検討する。	給与明細書、源泉徴収票発行の電子化
	事務効率の推進	預貯金等調査業務の電子化サービスの導入を検討する。	預貯金等調査電子化サービスの試行実施
39	屋内スポーツ施設の管理運営の見直し	令和3年度からの指定管理者を選定するとともに、管理運営が効率的かつ効果的に行われるよう年度評価等を実施する。	・令和3年度からの指定管理者の選定 ・屋内スポーツ施設に対し年度評価を実施
40	区税電子申告の利用率向上	eLTAX の積極的な利用を働きかけ、利用率向上を図る。	特別徴収税額決定通知等で eLTAX の利用を周知
41	放射線業務のあり方の検討	レントゲン撮影業務について、民間委託、業務の集中化や統合、検診車による撮影など放射線業務のあり方について検討する。	あり方を検討
42	情報化推進プランの推進	RPAやAIなどのICTを活用し、より質の高い行政サービスの提供と行政運営の更なる効率化を推進する。併せて、情報セキュリティの確保に努める。	・ペーパーレス会議システム構築 および庁内 LAN 無線環境の整備 ・テレワークシステム環境構築 ・Web 会議の環境整備 ・RPA、AI システム導入
44	窓口業務のあり方検討	区民課及び出張所等の窓口業務のあり方を検討し、区民ニーズを的確に捉えた質の高い窓口サービスのさらなる向上を図る。	・窓口混雑緩和等対策のため臨時待合室開設 ・マイナンバーカード交付窓口の土曜開庁実施
45	適正な跡地等の活用	跡地等利用方針に基づき、個別状況に応じた未利用跡地等の活用を検討し、区有財産の有効活用を図る。	旧潮見第一自転車保管場所跡地について、塩浜福祉プラザ及び障害者福祉センターの改修時における一時移転先として活用決定

No	項目名	取組方針	令和2年度実績
48・60	屋外スポーツ施設駐車場有料化の実施	新砂運動場、潮見野球場の駐車場については、夢の島総合運動場と同様の料金設定とする。	・駐車場ゲート等設置工事実施 ・駐車場使用料の条例改正
49	工業用水廃止に伴う魚釣場等の施設管理の見直し	豊住・砂町魚釣場、堅川河川敷公園鯉の池、横十間川親水公園田んぼ、しょうぶの池について、代替措置の検討や施設の縮小・廃止等について検討する。	各施設の見直し方針決定
50	多様で柔軟な働き方の推進	多様で柔軟な働き方の実現に向け、しごと生活応援プラン改定作業の中で時差出勤制度や在宅勤務制度など、様々な視点を踏まえて検討し、取り組む。	しごと生活応援プラン改定
53	使用料等の見直し	4年に一度の使用料等見直しに向け、毎年度決算後、施設の維持管理コストと最大徴収使用料との乖離状況を分析し、適正な使用料等の設定を行う。	令和2年10月に使用料等改定を実施 ※新型コロナウイルス感染症による特例的措置として、改定前の料金への据置き対応を10月より実施
55・57	区税の収納率の維持・向上 介護保険料の収納率向上	収納体制の強化及び徴収事務の効率化により収納率の向上を図る。	・LINEPay請求書支払いによる収納開始（区税） ・徴収嘱託員とコールセンターの連携による徴収強化（介護保険料）
56	国民健康保険料・後期高齢者医療保険料の収納率向上	コールセンターの機能を強化し、現年分滞納者への電話催告を推進する。財産調査等の拡充により、滞納処分や適正な執行停止を進める。	・電話催告にて現年度優先納付を推進 ・財産調査の外部委託開始により調査件数を拡充、滞納処分や適正な執行停止を推進

3 定員適正化計画

	年度	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
計画	職員数	－					2,715 人
	削減数	－					±0 人
実績	職員数	2,715 人	2,692 人	2,683 人			
	削減数	－	▲23 人	▲9 人			
令和2年度の実績理由		○指定管理者制度導入等による民営化実施ならびに技能系職員及び児童指導職の退職不補充による減					

（令和元年度を起点 4月1日基準日）